

そよかせ

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1 ～ 5 (自己№1～24・外部№1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	3	
理念に基づく運営	1		1 理念の共有(自己№1～3・外部№1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部評価1	○ 地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	常に理念に基づいたケアを心がけている為、各部署に理念を揚げ定期的に読み上げている。	0	
	1 理念の共有	2 外部評価2	○ 理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	とりわけ自立、自己決定が出来ることを大切にして、暖かい見守りをしている。職員間で声をかけあって共有している。	0	
		3	○ 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族には面会時に説明したり、地域の友人が入居者宅を訪問された時に、生活の様子を見て理解を得ている。	0	
	2		2 地域との支え合い(自己№4～6・外部№3)	自己評価3項目・外部評価1項目	1	
		4	○ 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣を散歩したり、商店での買物行事の案内をしている。散歩の時にはお花を頂いたり又、庭の果物を頂くこともある。	0	
	2 地域との支え合い	5 外部評価3	○ 地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	毎月第4日曜日はユニット毎の当番制で、地域公園の清掃に参加したり、夏祭りの参加を実施している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地 え域 合 と い の	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	定期的な地域推進会議を行い、地域の民生委員さんとの交流により、情報交換を行なっている。当事業所を災害時の避難場所に提供してはとの提案もあったが実現化していない。	1	公民館活動等にこちらから出向き、バザーなど出品作や見学により活性化を図りたい。
	3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己№7～11・外部№4～7)		自己評価 5 項目・外部評価 4 項目	1	
	3 理念を 実践す るため の制度 の理解 と活用	7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価で指摘された鍵をかけないケアの工夫は取り組んで改善されている。	0	
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では地域の民生委員から活発な意見があり、ユニット内の見学も実施できた。グループホームの入居者への理解もして頂けた。	0	
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる		1	これからの課題として検討している。
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	内部研修でソーシャルワーカーによる勉強会を受講している。ユニット内にあんしん支援センターを利用して金銭管理を依頼している入居者がおられる。	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修で受講している。ユニット内でも言葉かけ対応の仕方に注意を払っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づき運営		4	理念を実践するための体制(自己№12～18・外部№8～10)	自己評価7項目・外部評価3項目	1	
		12	○ 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には十分に時間をとって、説明を行い、解約時も家族、入院中であれば病棟責任者とミーティングを行なって、入居者本位に決めている。	0	
		13	○ 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者が直接苦情を言われることがあり、早期解決に取り組んでいる。苦情箱を設置している。	0	
	4	14 外部評価8	○ 家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に1回送付しているお便りで報告し、介護記録のコピーを同封している。面会の少ない家族には、さらに電話をしている。	0	
		15 外部評価9	○ 運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御意見箱の設置をしている。口頭での意見は記録に残し、職員全員で取り組んでいる。	0	
		16	○ 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の運営会議で、その都度報告をして反映させている。	0	
		17	○ 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者の体調不良や他科受診の時には話し合っ て、調整している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4 理 念 を 実 践 す	18 外 部 評 価 10	○ 職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や退職は殆どなく、馴染の関係を築いている。	1	他ユニット間同士、施設内実習を行い、緊急時に応援に来られても、利用者が動揺しないよう取り組んでいる。
	5	人材の育成と支援(自己№19～24・外部№11～14)		自己評価 6 項目・外部評価 4 項目	0	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19 外 部 評 価 11	○ 人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	年齢や性別に関係なく採用している。内部、外部研修に参加しやすい様に勤務表の配慮をしている。	0	
		20 外 部 評 価 12	○ 人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	常に研修を行い、一つの議題として取り組み、理解してもらうよう取り組んでいる。	0	
		21 外 部 評 価 13	○ 職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部、外部の研修を受けている。研修報告をユニット内で行なったり、報告書を上司に提出している。	0	
		22 外 部 評 価 14	○ 同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	介護職の集いに交代で参加して他グループホームの職員と意見交換している。	0	
		23	○ 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	日常会議の中でストレス軽減を図ったり、食事会で気分転換している。社員旅行の参加も計画している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	○ 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員がスキルアップのために受講した研修はポイント制にして賞与に反映させている。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2 (自己№25～34・外部№15～16)				自己評価 10 項目・外部評価 2 項目	3	
安心と信頼に向けた関係作りと支援		1	相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己№25～28・外部№15)	自己評価 4 項目・外部評価 1 項目	1	
	1 相談 から 利用 に至 るま での 関係 づく りと その 対応	25	○ 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	不安表情にある時はさり気なく声かけを行い、受容、傾聴の精神で個人とマンツーマンで話を聴いている。	0	
		26	○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の不安を感じれば時間を取り、家族が本人抜きで話をされたい時は、別室にてお聞きする。又、家族が良い時間をお聞きし、こちらから電話をしている。	0	
		27	○ 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族の要望、本人の要望をお聞きし、必要とする事をケアマネ、担当者、PT等と話し合いサービス利用をしている。	1	家族の介護力と経済力に不安のない様、長く暮らして頂ける事を前提に、他のサービス利用を積極的に勤めて行きたい。
		28 外部 評価 15	○ 馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	環境に慣れていただくため、最初は見学、顔合わせを行い、本人が納得された上でお連れしている。	0	
		2	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価№29～34・外部評価№16)	自己評価 6 項目・外部評価 1 項目	2	
	係り と 新 た な 関 係 づ く り と そ の 支 援	29 外部 評価 16	○ 本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	昔、得意だったこと等を事前に把握し、スタッフが教えて頂いたり、一部お手伝いをしながら、共感の立場で接している。(縫い物、料理、昔の習慣)	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	時々では自室にて御家族とお食事をして頂いたりして、家族のみで過ごすゆとりの時間を作り、お互いの情報交換もしている。	1	家族会の交流での内容を具体的に作り、より深い関係を築きたい。
		31	○ 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	今までの生活歴を理解した上で本人又は御家族の代弁者になり、より良い関係が維持できる様努めている。	0	
		32	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自由に本人の意志により電話して頂き、お友達が家族との連絡を援助している。	1	時々、ドライブにお連れし、昔住み慣れた場所に行っている。しかし、お一人くらいなのでゆっくりと他の方もお連れしたい。
		33	○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ほぼ毎日、日中の計画を考え、誰でも参加できるゲームやおはじき等をして頂き、他者に声かけして頂くのも利用者をお願いしている。	0	
		34	○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	自宅へ戻られた方はケアマネが訪問して生活の様子を伺っている。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己№35～51・外部№17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	4	
	1 一人ひとりの把握(自己№35～37・外部№17)			自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
	1 の一人 把握ひとり	35 外部 評価 17	○ 思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	各自室での過ごし方は、常に尊重し部屋の配置、家具等も馴染の物である。困難な時は、しっかりと理由を説明し、本人が納得されない時には無理強いしない。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前の情報と現在の状況を把握し、特に今でも継続されているものは、途切れない様支援している。(縫い物、編み物、洗濯物たたみ等)	0	
		37	○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎朝、健康チェック(バイタル測定)を行い、担当スタッフ、ご家族、ご本人の意見を尊重し話し合いの結果作成している。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己№38～40・外部№18～19)		自己評価3項目・外部評価2項目	1	
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	○ チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月、各個人カンファを行い、担当スタッフ、ご家族、ご本人の意見を尊重し、話し合いの結果作成している。	1	各個人が得意だった事を再検討し、自信を持ち続けられる計画にしていきたい。
		39 外部評価19	○ 現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	常にスタッフと管理者、ケアマネ等で定期的に話し合い(変化があればその都度)で家族の要望もその時担当者より報告、検討している。	0	
		40	○ 個別の記録と実戦への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに沿った記録を重視し、特に問題が多くなっている方のプランに対しては、見直しと検討をしている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己№41・外部№20)		自己評価1項目・外部評価1項目	0	
	3 柔軟な支援	41 外部評価20	○ 事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	A D L 向上の為、本人、家族の要望があれば、事業所併設のリハビリにお連れしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己№42～51・外部№21～22)		自己評価 10項目・外部評価 2項目	3	
	4	42	○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域推進会議を定期的に行い、地域に参加出来る祭り等にお連れしている。	1	今後は文化祭、バザー等にお連れし活性化を図りたい。
		43	○ 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の外出願望と治療の一貫としてデイケアを週に1回利用されている入居者もいる。	0	
		44	○ 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議の出席を次回から依頼する予定である。民生委員の出席はあり、今後協働に向けて働きかける。	0	
		45 外部評価21	○ かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	以前よりかかりつけされている医院を尊重し、必要時にご家族が連れて行かれたり、こちらよりお連れしている。	0	
		46	○ 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要時は受診して、入居者と職員が各々相談を受けている。	1	カウンセリングのアドバイスや専門医を幅広く情報を得て、インターネットの利用も増やしたい。
		47	○ 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	ユニットに看護師を配属し、健康管理の観察を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	48	○ 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	御家族、病院と連絡を取り、又こちらから直接病院に行き介護添書の補足をして、情報交換をしている。	0	
		49 外部評価22	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	早目にご家族の方に報告し、要望を確認し、それに沿った介護を提供している。	1	終末期の心のケアの勉強をスタッフが学ぶ時間を取り、穏やかに過ごされるよう支援したい。
		50	○ 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご家族に出来る医療を説明し、これ以上の処置を希望される時は他科受診をすすめている。	0	
		51	○ 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	このグループにいる事の本人へのメリット、デメリットをお話し、本人の自己決定を尊重した上で家族の意見も入れている。	0	
	その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己№52～89・外部№23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目	5
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己№52～81・外部№23～30)			自己評価30項目・外部評価9項目	4	
	1 その人らしい暮らしの支援	(1) 一人ひとり尊重(自己№52～54・外部№23～24)		自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		52 外部評価23	○ プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人のプライドを傷つけない言葉かけを常に心掛け、又研修でのロールプレイ等で自身のケアを客観視している。	0	
		53	○ 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	あくまでも自己決定を尊重し、本人が迷われた時スタッフが個人ケアにて手助けをしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	○ 日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	スタッフペースになりかけている時は、常日頃のミーティングの成果を発揮し、他スタッフがブレーキをかけられる間柄をつくっておく。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己№55～60・外部№25～26)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	0	
		55	○ 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	なじみの美容室を持っており、本人が希望されれば事前に連絡してお連れしている。	0	
		56 外部評価 25	○ 食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	時々、施設内食事会や近場でのお茶のみにお連れしている。	0	
		57	○ 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	時々個人ケアとして、お買い物同行し、出来る方はご自分で好みのものを購入し支払っていただく。	0	
		58	○ 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	決まった時間にトイレ誘導を行い、日中の失禁防止に努めている。	0	
		59 外部評価 26	○ 入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の外出予定や体調を把握し、本人が望まれる時間に入って頂いている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	○ 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	各自室に入られる時間は制限せず、本人の意思に任せている。時々声かけ行い、様子観察している。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己№61～66・外部№27～28)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	1	
		61 外部評価 27	○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	大正琴の得意な方、縫い物、編物等、本人が「しましよう」といわれる様さりげなく、スタッフが行い、協力して頂く様に図っている。	0	
		62	○ お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人に声掛けをし、財布をもって買い物をして頂き、支払いも可能な限り自力にてして頂いている。	0	
		63 外部評価 28	○ 日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気が良い日はドライブ散歩等常に行っている。	1	その日の希望に沿って戸外に出かける支援は取り組んでいきたい。
		64	○ 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	一ヵ月毎に予定を計画し、実行している。(個人的に希望をさり気なく聞いている)	0	
		65	○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が希望されれば常にダイヤルを回したり手助けを行っている。暑中見舞いや年賀状のやり取りも支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	家族、友人の訪問を受けた時は職員も適度にコミュニケーションを取り、あとはお茶を出して居室でゆっくり過ごして頂いている。	0	
		(4)	安心と安全を支える支援(自己№67～74・外部№29～30)	自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	2	
		67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	すべての職員が拘束しないケアに取り組み、言葉による拘束も行わないようにしている。	0	
		68 外部評価 29	○鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に鍵をかけない取り組みを行ってケアの工夫をしています。	0	
		69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は職員が見守りその都度対応している。夜間は 2 時間おきに様子確認し、トイレ移動時に見守りしている。	0	
		70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	職歴や趣味によって居室に持っておられるので、見守りと声かけを継続している。(はさみ、針、白髪染め)	0	
		71	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ひやりはっとの経験を踏まえて、予測される事故を防ぐために、職員間の情報共有を徹底している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	内部研修で行い、ユニットでも看護師を中心に 行っている。	1	研修の回数をもう少し多くし、対応できるように 体制を整えている。
		73 外部 評価 30	○災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる 方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きか けている	年に2回事業所全体で行い、運営推進会議におい て、町内会長、民生委員に相互協力の呼びかけを 行っている。	1	散歩等の時、利用者と再確認しどのようにお連れ 出来るか考えておきたい。
		74	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感の ない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	居室内での転倒、急変の起こる事を説明し、緊急 時の搬送先を個別に記録している。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己№75～81・外部№31)	自己評価7項目・外部評価1項目	1	
		75	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速や かに情報を共有し、対応に結び付けている	各勤務帯で申し送りを徹底して、早期に医師に報 告、指示を受けている。	0	
		76	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量 について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	記録の中に服薬内容の北-をファイルして、職員 が把握できるようにしている。薬の変更があれ ば、バイタル測定をして観察、医師に報告してい る。	0	
		77	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲 食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分を摂りやすくして（お茶ゼリーにポカリス エット、ヨーグルト等）提供している。毎日リハ ビリ体操を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	○ 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	自力の入居者は声かけ、介助の方は誘導にて行っている。毎週水曜は義歯の方はポリデント消毒を行っている。	0	
		79 外部評価 31	○ 栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取の少ない入居者には、お茶ゼリーやアイスティー、アイスコーヒー等飲み易い状態で提供している。	1	病人食の方がいらっしゃる為、今一度病人食の勉強に取り組みたい。
		80	○ 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	外出先から帰ると必ず声かけして、手洗いお茶でのうがいをを行うよう支援している。	0	
		81	○ 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用器、食器、フキン類は毎日ハイター消毒を行っている。洗面所、トイレはペーパータオルを使用している。おやつ類は加熱した食器を使用している。	0	
	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)～(2) (自己№82～89・外部№32～33)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	1	
	2 生活の環境づくり その人らしい暮らしを支える	(1) 居心地のよい環境づくり (自己№82～86・外部№32～33)		自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	0	
		82	○ 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	現在、増築工事中であり、不便をかけているがユニット内玄関は家庭的な雰囲気になっている。	0	
		83 外部評価 32	○ 居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレは細めに掃除をして不快のない様にしている。居室や食堂は四季を感じる飾り付けや季節の花を置いている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファーに座ってテレビ視聴や談笑される姿がみられる。居宅を訪問する入居者もある。	0	
		85 外部評価33	○居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	わが家同様に仏壇や好みの家具を置いて個性が出ている。	0	
		86	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	室温の調整は職員が行っている。トイレ、浴室も窓を閉めて温度差を少なくしている。	0	
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己№87～89)		自己評価3項目	1	
		87	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	リビング及び室内の環境を整備して転倒しない様見守り、介助を行っている。	0	
		88	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	日めくりは入居者が気づきめくっている。入居者が他の入居者の行動を危険だと教えてくださる場面もある。	0	
		89	○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外周リは現在増築工事中であり、危険な為ベランダの縁を見て頂き四季に触れるようにしている。	1	季節感を得られるように、プランター利用で実りの物を植えた。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	該当 番号	
サ ー ビ ス の 成 果 に 関 する 項 目	90	○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2 / 3 くらいの 利用者の1 / 3 くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1 回程度ある たまにある ほとんどない	2		
	92	○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	1		
	93	○利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	2		
	94	○利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	2		
	95	○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	1		
	96	○利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	1		
	97	○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2 / 3 くらいと 家族の1 / 3 くらいと ほとんどできていない	2		
98	○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	○職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2 / 3 くらいが 職員の1 / 3 くらいが ほとんどいない	1	
		101	○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	2	
		102	○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2 / 3 くらいと 家族等の1 / 3 くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	該当 番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。